

# 石田城再発見シンポジウム

## ～ジオ視点による再検証～

「石田城跡」が昭和41年長崎県の史跡に指定され、城内の一角にある「石田城五島氏庭園」は平成3年国の名勝指定を受けている。また、関連の「武家屋敷松園邸」は市有形文化財、「五島家墓地」「嘯月園」「常灯鼻」「福江武家屋敷跡」は五島市の史跡指定を受け保存が行われている。しかし、時代の流れもあってか周囲の状況も変化しており、これら文化財の維持・保存のほか、その重要性についての認識を市民が持つ必要がある。しかも石田城（福江城）の城壁は、戦国時代の城づくりを継承しつつ幕末の外国船の来航への対策のための台場も備えた海城と言われて貴重なものである。

近年は、ユネスコ世界文化遺産認定に続いて、五島列島ジオパーク構想も市の施策となり、石田城についても五島地域の自然がもたらした賜物であるという見方もできる。それは、海辺の堅固な溶岩台地の上に周囲の玄武岩質溶岩を活用した石垣づくりのほとんどが現存していることである。地質・地形学的な見方も加味して、全体を国の有形文化財及び史跡としての指定を視野に入れて今回のシンポジウムを行うものである。

### 記

日時 令和元年

9月14日（土）

- ・15:00～ 2時間程度 （集合）心字が池玄関前広場（予定）  
心字が池（入館料800円）、五島家墓所など 講師・野村俊之氏

9月15日（日）

講演とシンポジウム（会場）福江勤労福祉センター3階展示室（演題は仮題）

- ・10:00～12:30  
基調講演 中井均 滋賀県立大学教授「福江城の歴史的意義」  
講演① 岡寺良 九州歴史資料館学芸員「近世西南地域の海防遺跡と幕末期城郭」  
講演② 野村俊之 九州近世大名墓研究会共同代表「大円寺五島家墓所に使用された石」
- ・13:30～15:30  
講演③ 細田一郎 五島列島ジオパーク推進協議会専門員「ジオサイトとしての石田城」  
シンポジウム 「石田城の価値の再発見」  
進行司会 五島典昭氏（五島家第35代当主）  
パネリスト 中井、岡寺、野村、細田、中村真由美（五島市文化財審議委員）の各氏  
石田城探索（シンポジウム終了後）
- ・15:30～ 2時間程度 講師・中井均教授

主催 五島自然塾（連絡先090・7471・8356永治ながや）

共催 五島文化協会

後援 五島市、五島市教育委員会、五島列島ジオパーク推進協議会、五島家、九州商船滞在型  
コーディネーター事業部

入場料 無料 ・資料代は実費程度（予定）

申込 事前に電話、FAX(72-8585)、Eメール [gotoshinpo@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:gotoshinpo@lagoon.ocn.ne.jp) でご連絡を  
○島外からの参加者は九州商船HPより、ジョイフルパック(宿+船セット)をご利用ください。  
○本事業は(公財)日本離島センターの離島人材育成基金助成事業による助成を受けています